



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 山本 眞

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第454号 2017年4月23日発行

主はわたしに、その周囲
を行き巡らせた。見ると、
谷の上には非常に多くの骨
があり、また見ると、それ
らは甚だしく枯れていた。
そのとき、主はわたしに言
われた。「人の子よ、これ
らの骨は生き返ることがで
きるか。」わたしは答えた。
「主なる神よ。あなたのみ



主教 アンデレ 磯 晴久

枯れた骨よ、 復活せよ

がご存じます。」

(エゼキエル 37:2-3)

預言者エゼキエルは、紀
元前597年、多くのユダ
ヤの民と共に、無理やりバ
ビロンに連れて行かれまし
た。民の精神的支柱であっ
たエルサレムの神殿は破壊
され、バビロン捕囚という
大苦難が民を襲いました。

この大苦難の中で、エゼキ
エルは神からの召し出しを
受けました。神はエゼキエ
ルに食べ物として巻物を与
え、彼はそれを食べました
(3:1-3)。神から託さ
れた言葉が、彼の内面から
わき出て行きます。彼は何
度も幻を見ます。召命の時
も天から眩しい発光体が着

るそうです。彼の見る幻、
それは神から託された言葉
の表出でした。その代表的
な幻が「枯れた骨の復活」
です。
エゼキエルは枯れた骨が、
神から託された言葉によっ
て、つながり合い、その上
に肉が生じ、非常に大きな
集団として生き返るのを見

陸し、中から輪のような不
思議な乗り物に乗った人間、
獅子、牛、鷲の4つの顔を
持つ生き物が出てくるのを
見ます(1-4以下)。後
にこれらは福音記者のシン
ボルともなります。あまり
に幻想的な場面なので、S
Fファンからは、人類最初
のUFOの目撃例なのでは
と取り沙汰されることもあ

ます。黒人霊歌「ドライ・
ボーン」でも有名な場面で
す。バビロン捕囚に代表さ
れる一見再生不可能に見え
る状況が、神の力によつて
再生可能になるというメッ
セージがそこに込められて
います。
神の命の霊(37:10)が、
生気を失った人々、抑圧さ
れ、散らされ、渴いている

人々、孤独に置かれている
人々に満たされていきます。
人は生き生きとした自分を
失い、核となるものを見失
っています。枯れた骨のよ
うに自分自身の中で、何も
かもがばらばらになってし
まっているのです。現代社
会の今の私たちの状況につ
ながる場面ではないでしょ
うか。今の教会の状況にも
つながる場面ではないでし
ようか。

そこに神の命の息が吹き
込まれた時(37:5-9)、
人々は生き生きとした人へと
変えられていきます。この
幻はイエス・キリストの復
活を示しています。この幻
は聖霊降臨・ペンテコステ
の出来事を預言しています。
私たちがみ言葉を食べる
ほど聴く時、神の命の風が
私たちの中に吹き込むこと
を祈り求めるとき、教会の再
生が始まります。枯れた骨
よ、復活せよ!
(いそ はるひさ・大阪教区
主教)



第118(臨時) 教 区 会

**2016年度教区決算関連の議案を可決
新教会名「守口聖オーガステイン教会」を承認**

第118「臨時」教区会が3月19日(日)午後3時から大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)の会館3階で開かれた。議案取扱委員など、教区会における諸委員の指名に続いて議員・代議員の点呼が行われた後、議長である磯崎久主教から開会が宣言された。議会

は議長による開会祈祷、開会演説、議案審議へと滞りなく進行し、予定より15分早い午後4時45分に閉会が宣言された。当日の書記は松平功司祭、奥村貴充司祭。補助書記は金山将司聖職候補生。議案は下記の3つあり、全て可決された。

別積立金」に繰り入れることが承認された。
議案第3号「教会名変更の件」(提出者:守口復活教会教会委員会)。創立65周年に際して、「守口復活教会」の教会名を「守口聖オーガステイン教会」に名称変更することを承認すること。

議案第1号「2016年度日本聖公会大阪教区決算承認の件」(提出者:財務委員会)。財務委員から、予算額4,300万円のところ支出決算額は38,778,444円と90・18%に減額しているとの説明があり、2016年度の大阪教区決算を決算報告書の通り承認するに至った。

提案理由:守口復活教会の教勢は年々減少し、2016年度から牧会補助金を受けるまでに低迷している。しかし現在、このような状況の中にありながらも、新しく赴任した教役者と共に教員が一致団結し宣教活動に励もうとする機運が芽生えている。当教会は2017年5月に創立65周年を迎えるが、この記念日を契機に新しい教会名での再度の出發を願っている次第である。新名称となる聖オーガステインは、初代カンタベリー大主教の由緒ある名前であり、かつ守口復活教会の初

議案第2号「2016年度日本聖公会大阪教区一般会計収支余剰金処理の件」(提出者:財務委員会)。余剰金は3,830,068円で、財務委員からの簡単な説明の後、上記一般会計収支余剰金を「特

代牧師、芦澤光雄司祭の教名でもあり、聖公会として、かつ、守口復活教会としての伝統を継承しつつ、これまでの活動を想起でき得る教会名であると信じる。なお、この議案については、2016年10月16日に行われた「臨時」受聖餐者総会において、受聖餐者38人中、33人の賛成を得て承認されたものである。

この議案は、先の「定期」教区会において、議長預かりとなり採決されなかったため、今回で2度目の提出となる。議案について守口復活教会の代議員から説明があり、同教会の変革の必要性と教員の一致団結による進歩的な宣教の決意が訴えられた。また、議長からは、議長預かりの後、2度にわたり守口に足を運び、教会委員の意見を聞くなど、教会の人々が名称変更を望んでいることを確認したという説明があった。

採決は、議員・代議員51人中、33人の賛成、14人の反対で過半数を超え、可決された。(大阪教区報編集部)

ペンテコステ・ヴィジル

第11回 聖霊降臨日 前夜の礼拝

日 時 **2017年 6月3日(土)**
17:00-18:00



場 所 **日本福音ルーテル 大阪教会**

大阪府中央区谷町 3-1-6 電話 06-6941-3067
地下鉄 谷町四丁目駅 1B 出口より 徒歩 3 分

説 教 **越川 弘英 牧師** (同志社大学神学部教授)

司 式 **大柴 譲治 牧師** (日本福音ルーテル教会)

補 式 カトリック大阪大司教区、日本基督教団、
日本聖公会、日本福音ルーテル教会

主催 **聖霊降臨日 前夜の礼拝 実行委員会**

後援 **大阪キリスト教連合会**

東日本大震災から6年

記念聖餐式を大阪聖パウロ教会で

ペテロ 内海 良輔

3月11日(土)午後2時から、大阪聖パウロ教会において、大阪教区宣教部 礼拝・音楽委員会主催の東日本大震災6年記念聖餐式が行われました。今年も東日本大震災を憶え、世界各地の自然災害の被災者を憶えて祈りがささげられました。司式は磯晴久主教、説教は前沖繩教区主教の谷昌二主教、出席者は54人でした。

ペテロ 内海 良輔
や原発の問題に無関心であることに危機感をもっていること、それは沖繩の問題にも通じることであり、お話しさ

れました。また、「御言葉を言う人になりなさい。」(ヤコブ1:22)という聖書の言葉を取り上げ、行動を起こすこと、ともに歩むことが必要であると話しされました。谷主教が現地で聞いた「忘れ去られるのが一番つらい、来てくれたことが嬉しい」という言葉が胸を打ちます。私たち

に必要なことは、自分の問題として受けとめ、共に歩む気持ちではないかと考えさせられました。
説教に引き続き詩編第46編を唱えて黙祷を行い、2時46分から3分間点鐘して、各自が祈りをささげました。聖餐式の終了後は特に懇談会などには行わずに、各自が思いをめぐらしながら帰路についたことも、この日の趣旨にかなっていたと思われました。なお、当日の信施金53,700円は小名浜聖テモテ幼稚園の室内遊具購入のために献げられました。
(うつみ りょうすけ・川口 基督教会信徒)



説教をされる谷昌二主教

谷主教は2012年7月から福島聖ステパノ教会に常駐された経験から、福島状況

「特別協働教区」関係発足記念
大阪教区・京都教区合同礼拝
～ 聖餐式・協定調印式～ 第2報

わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、
あなたがたは神の畑 神の建物なのです。

(コリントの信徒への手紙I第3章9節)

日時

2017年5月5日(金・休) 13:00～

場所

京都教区主教座聖堂 (聖アグネス教会)

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売角

※駐車スペースが限られておりますので、
公共の交通機関をご利用ください。



司式 ステパノ 高地 敬 主教 (京都教区)

アンデレ 磯 晴久 主教 (大阪教区)

説教 サムエル 大西 修 主教

(前大阪教区主教・前教区間協働担当主教)

礼拝後、平安女学院の「明治館」にて、ささやかなお茶とお菓子の用意があります。「明治館」は、1892年、照闇女学校(平安女学院の前身)が川口居留地から京都移転の際に建てられた最初の校舎で、当時英国で大流行していた「クイーンアン・スタイル」という建築様式で建てられています。現在、国の登録有形文化財であり、この様式で残存しているのは、「明治館」だけとされています。歴史の香りの中でおくつろぎください。

主催：大阪教区・京都教区特別協働教区運営委員会

協力：大阪教区宣教部 礼拝・音楽委員会

京都教区宣教局 礼拝部

お問い合わせは各教区事務所にお問い合わせいたします。

(大阪は 06-6621-2179)



京都教区と大阪教区合同の聖職養成委員会主催「春のセミナー」が西宮聖ペテロ教会を会場にして、3月30日(木)に開催されました。対象は執事、聖職候補生、神学生で、人事異動の対象者や施設関連の年度末のゆえに、残念ながら

成 養 職 聖
委 員 会 主 催

京 都 ・ 大 阪 合 同 の
「 春 の セ ミ ナ ー 」 開 か れ る

司 祭 施 洗 者 ヨ ハ ネ 山 本 眞

京都教区と大阪教区合同の聖職養成委員会主催「春のセミナー」が西宮聖ペテロ教会を会場にして、3月30日(木)に開催されました。対象は執事、聖職候補生、神学生で、人事異動の対象者や施設関連の年度末のゆえに、残念ながら

ら欠席もあったのですが、大阪教区の対象者は全員参加できました。礼拝堂での朝の礼拝の後、会館に移って養成委員のスタッフも一緒に「今の自分を見詰め直す」作業とそれを「分かち合う」時を持ちました。昼の祈りと昼食の後、石垣進の執事と成岡宏晃の執事による「現場に遣わされた様々な体験をしてきた執事の思い」を聴きました。石垣執事は翌日をもって定年退職という立場ですが、にもかかわらずなお

も囑託として「仕える」道を歩む決意を披歴され、成岡執事は「中学校・高等学校チャレン」でありながら、地域に仕える教会の「牧師」でもある、働きの多様性の中での喜びと苦しみに触れられました

た。それぞれに与えられた賜物を思いながら、それぞれに与えられるお導きとお恵みに感謝する時を過ごしました。最後に、礼拝堂で夕の礼拝を持ち、磯主教のメッセージをいただいて、それぞれの現

場へと戻りました。主催者は、桜満開の中でのセミナーを期待していましたが、残念ながらお花見には至りませんでした。(やまもと まこと・大阪教区聖職養成委員会・委員長)

公 示

救主降生2017年4月12日
日本聖公会大阪教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

神のお許しがあれば、下記の通り聖職按手式を執行し、
執事 フランチェスコ 成 岡 宏 晃
を公会の司祭に叙任し、
聖職候補生 ペテロ 金 山 将 司
を公会の執事に叙任いたします。
主にある諸教会、兄弟姉妹の代禱をお願いいたします。
またご臨席いただければ幸甚に存じます。

— 記 —

- ◇日 時 救主降生2017年5月3日(水・休) 午前10時30分
- ◇式 場 大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)
〒550-0021 大阪市西区川口1丁目3番8号 ☎06-6581-5061
- ◇司式者 主教 アンデレ 磯 晴久
- ◇説教者 司祭 パウロ 佐々木道人(東京教区・聖公会神学院校長)
- ◇式典長 司祭 テモテ 内田 望
※祭色は「白」を用います。

救主降生2017年3月20日
日本聖公会大阪教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

下記の人事異動を発令いたします。

- 主教 アンデレ 磯 晴久 2017年4月1日から7月31日まで司祭 マルチン 韓相敦の休暇中、高槻聖マリヤ教会管理を委嘱する。
- 司祭 ペテロ 岩城 聰(退) 2017年4月1日から7月31日まで主教 アンデレ 磯 晴久のもと高槻聖マリヤ教会において囑託司祭として主日勤務することを委嘱する。

シリーズ 聖公会関連施設紹介 ― ⑮

桃山学院大学

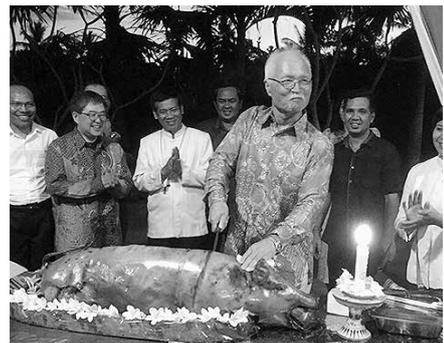
チャプレン 司祭 テモテ 宮嶋 眞

創立1959（昭和34）年の

桃山学院大学は、和泉市移転22年目を迎えました。2014年には、コストコ、ららぽーと和泉などの広大なショッピングセンターが近隣に開業し、学生の大切なアルバイト

先にもなっています。

キリスト教センターの大きな出来事としては、1987年から実施している国際ワークキャンプ（インドネシア・バリ島）が実施30回を迎えたことです。昨年8月ワークキ



現地のパーティーで豚の丸焼きに入刀する石田副学長

ャンプ一行23人と共に、磯晴久学院長（主教）を団長にし

た桃山学院大学代表団が現地を訪れ、第30回キャンプの記念感謝礼拝を行いました。30年にわたって支えてくださったプリンピンサリ村の方々も多数参加して喜びを共にしました。また11月の桃山祭の期間中に、実施30年記念感謝礼拝、報告会、記念シンポジウムなどを大学チャペルにて行うことができました。30年にわたるキャンプ参加者の先輩たち、インドネシアからの3人のゲストの方も合わせて150人余りが集い、大同窓会を行

主教アブラム 植松従爾師父を偲んで



去る3月7

日アブラハム 植松従爾主教は、神様の御手に抱かれるように、天国へと凱旋なさいました。

中部教区で10年間主教として奉職され、定年退職後大阪に居を構えられ、30年あまりを過ごされました。100歳と77日でした。故人とご家族の希望により、7日の夜午後8時から恵我之荘聖

マタイ教会で、近親の皆様を中心に葬送式が執り行われ、献体を希望しておられたので、ご遺体は式後受け入れ病院へと向かわれました。

私が恵我之荘聖マタイ教会の牧師の時、時折主日礼拝に出席下さり、しめしめ説教をお願いしようと思いましたが、「自分はディーコン（執事）が大好きです。ディーコンをさせてください」と仰って、

少々がっかりしたことを思い出します。そして嬉しそ

うにストールをたすき掛けにし、楽しそうにディーコンパートを担ってくださる姿が、今も浮かんで参ります。お会いする度に、いつもニコニコとして、謙遜で悠々と生きておられるなど感心したものです。説教で大西修主教が語っておられたのですが、教名アブラハムの通り、神様の約束を信じ、ひたすらイエス様を見つめ、神様と人に仕える道

を歩まれた方でした。また、どんな時も「お祈りしましょう」とずっと立ち上がって、お祈りをされる祈りの人でした。私のように何だか毎日忙しくバタバタしている者にとっては、「大切なものを忘れていませんか」と教え、諭してくださいる存在であったことに感謝の気持ちで一杯です。植松主教の魂の平安と喜久江夫人のためにどうぞお祈りください。（主教アンデレ 磯晴久）

うことができました。キャンプ参加の先輩たちは国際的に活躍する人も多く、また、昨年はACUCA（アジアキリスト教大学協会）の学生キャンプにこのインドネシアキャンプの経験者2人が参加し、アジアの大学生との交流を深めて帰ってきました。改めてこのインドネシアキャンプが、学生たちの海外研修、交流の登竜門として、世界市民養成の大切な体験の場として活かされていることを感じました。さて、桃山学院大学にとって大きな課題だったのは、一昨年来、プール学院大学との協議を重ねてきた、「プール学院大学教育学部を継承し、桃山学院教育大学を設置する」というプロジェクトでした。プール学院泉ヶ丘キャンパスの4年制大学を、桃山が引継ぎ、同じ場所、2018年4月から桃山学院教育大学が発する予定です。大阪にある聖公会の関係学校同士として、できることから大いに協働していくことができればと願っています。（みやじま まこと・京都教区聖光教会管理牧師）



講座修了者とともに

「教会奉仕者のための学び」 ウイリアムス神学館出張講座 終了のご案内

司祭 ジョイ 千松 清美

2010年4月から始まったこの出張講座は、大阪聖パウロ教会を会場にウイリアムス神学館の協力を得て、神学館から講師を招き、年10回の講座でした。年毎に講座終了

時には、教区主教より「修了証」を授与されました。毎年受講する方や他教区・他教派から受講する方など、多くの方が大変意欲的にこの講座を受講されました。そのようななか大変残念ではありますが、2016年度をもってこの出張講座を終了させていただきます。終了する理由は、企画側

座を閉じて、新たな信徒教育のための学びを考えていこうと決めました。これまで講座を担当してくださった講師の先生方、受講してくださった方々、会場をお貸しいただいた大阪聖パウロ教会の皆様にご感謝申し上げます。
(せんまつ きよみ・大阪教区生涯学習委員会委員長)

の目的遂行の努力不足により、当初の信徒訓練、伝道師育成の目的が薄れてしまったからです。窓口である生涯学習委員会では、一度この講

2016年度 「教会奉仕者のための学び」 に参加して

アブラハム 佐野 重雄

昨年のヨハネ福音書に続いて、今年も前川裕先生（関西学院大学専任講師・ウイリアムス神学館教授）の聖書講解「マタイ福音書の声を聴きとる」を受講しました。前川先生の講義は入門講座で分かりやすく、しかも緻密で高度の研究に裏打ちされており、レ

ジュメにも資料や写真を取り入れて、新約聖書が書かれた初代教会時代の社会や人々の考え、行動まで彷彿とさせるものでした。また先生の人柄のじみでた誠実な授業にも感銘を受けました。いただいたレジュメは、これから福音書を読むときの手引きとなり

2017年度 大阪教区 在日学習会シリーズ

第1部 学習会

日本と韓国の聖公会の歴史を学ぶ

講師：井田 泉 司祭 (奈良基督教会牧師)

第2部 食事会

韓国料理の食事会

講師の井田先生を交えて質疑や歓談しながら食事会

日程：2017年 6月18日(日) 午後3時～

場所：大阪城南キリスト教会

543-0026 大阪市天王寺区東上町 8-30

Tel・Fax: 072-953-5444

JR、近鉄、地下鉄「鶴橋駅」下車徒歩8分

会費：1,000円 (第2部の食事代)

主催：在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会

ます。受講者は熱心で、毎回信仰生活のアドバイスを求める質問などもあり、充実した時を過ごすことができました。「教会奉仕者のための学び」は2010年に開講され、私は7年間に全12講座を受講しました。教理学、教会史、礼拝学、旧・新約聖書入門、4福音書などキリスト教全般を網羅する講座でした。大阪教区では過去にも同様の信徒教育がありました。信徒は日常的にキリスト教教理や聖書の深い理解に触れることは少ないのが現実で、信徒教育を

望んでいる人は少数ではありません。そういう意味からこの企画は大きな意義があり、ご担当のご苦労、講師のご努力には感謝申し上げます。この学びは決して学ぶことが目的ではなく、むしろ出発点であり、教会の様々な働きを望む人が増し加わることを切望します。そのためにはこの学びが継続されることを願ってやみません。
(さの しげお・大阪聖アンデレ教会信徒)

ウイリアムス神学館 入学式

今年度2人の新入生を迎える

イサク 伊藤 良三

2017年度ウイリアムス神学館入学式は、4月5日(水)午前11時から京都教区主教座聖堂にて開催されました。本年度の入学生は沖繩教区よりウリエル仲宗根遼祐兄(24歳)と大阪教区からエレミヤ山本直樹兄(52歳・西宮聖ペテロ教会信徒)のお二人です。

神学生を目指す人たちの志が、少し変わってきたと感じるが、それは時代の流れであり、要請であると思われまます。

本日の福音書日課(ヨハネ11:17~44)は、マリアとマルタ、その兄弟ラザロの物語です。兄弟ラザロの死を通して、イエスと姉妹との関わりが語られます。姉妹と会われた時はラザロが死んで4日も経っていました。マリアとマルタは共にイエスに対し『主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに』と言いました。彼女たちが嘆き、悲しみを、泣いているのをご覧になると、イエスは心に怒りを覚えられた、それも2

回も、とあります。聖職を志す人は、常に泣く者に寄り添い、仕えることが肝要である」と話されました。

お二人は館長より聖書を受けた後、入学者名簿に署名されました。

終了後、教区センターで、同館の厨房を担っておられるスタッフによる豪華な、心のこもった手料理をいただきながら新入学生を囲んで、和やかな昼食会が行われました。出席者は関係者を含めて40数人(大阪教区関係は15人。内ペテロ教会より7人)でした。

なお、4月第3主日より、山本直樹神学生は神戸聖ミカエル教会で、仲宗根遼祐神学生は西宮聖ペテロ教会で、本年3回生となるヒュームユーンワン聖職候補生は芦屋聖マルコ教会で教会実習をされます。2人の新入生を迎えて本年度の在校生は5人となったということです。

(いとう りょうぞう・芦屋聖マルコ教会信徒、大阪教区聖職養成委員)



仲宗根兄(右)と山本兄(左)

本日の福音書日課(ヨハネ11:17~44)は、マリアとマルタ、その兄弟ラザロの物語です。兄弟ラザロの死を通して、イエスと姉妹との関わりが語られます。姉妹と会われた時はラザロが死んで4日も経っていました。マリアとマルタは共にイエスに対し『主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに』と言いました。彼女たちが嘆き、悲しみを、泣いているのをご覧になると、イエスは心に怒りを覚えられた、それも2

「守口ぶどうのいえ」が

贈呈先に選出される

司祭 ヤコブ 松平 功

毎日新聞大阪社会事業団の主催する「生きる小児がん征圧キャンペーン」に寄せられた「小児がん征圧募金」の贈呈先のひとつに、「守口ぶどうのいえ」が選ばれ、去る3月6日、「守口ぶどうのいえ」を含む9団体に各40万円、総額360万円が贈られました。9団体は「守口ぶどうのいえ」の他、「にこにこトマト(京都市)」、「京都ファミリーハウス(京都市)」、「日本クリニクラン協会(大阪市)」、「TSURUMI こどもホスピ

ス(大阪市)」、「Japan Hair Donation & Charity(大阪市)」、「近畿小児血液・ガン研究会(吹田市)」、「チャイルド・ケア・ハウス(神戸市)」、「あいち骨髄バンクを支援する会(名古屋市)」。

贈呈式は毎日新聞大阪本社で行われ、翌日の朝刊で報道されました。今回、贈呈をいただきボランティアの方々と共に喜んでいきます。さらなる支援が必要とされておりますので、ご慈愛いただけましたら幸いに存じます。(郵便振替00970-7-312834) (まつだいら いさお・守口復活教会牧師、「守口ぶどうのいえ」施設長)



贈呈を受ける松平司祭(右から2人目)

第 5 回 U26 集会

全国から青年が集い、
「神様の賜物」について考える

クリストファー 小西 宏平

2月18日(土)〜20日(月)まで、第5回U26全国集会在大阪の信太山少年自然の家で開催されました。

U26とは、18歳〜26歳以下の管区の青年会で、「知る・つながる・教会の絆」という目標を掲げて全国の聖公会の青年達がつながり、より教会生活が楽しく豊かなものになるように活動しています。そ



の1つの活動が毎年2月に行われる26全国集会です。

今年の集会は「GIFT」というテーマを掲げて、神様からの賜物を考えました。集会中に、自分自身への神様からの「GIFT」や、参加した青年同士がお互いの「GIFT」を考えたりして、神様からの「GIFT」を再確認したり、いつも会っている青年達や今回新しく参加した青年達の「GIFT」を考えたりして、

今まで気づかなかった神様からの「GIFT」に気づくこともありました。

U26全国集会も今回で第5回となりました。私自身も第3回から参加して、たくさんさんの全国の青年とつながってきました。このつながりがあるから同じ教会はもちろん、他教区の青年とも一緒に活動がしたいと思いい、教会生活が楽しく豊かなものになっています。

このように思えることは、U26が集会を行い全国の青年同士をつなげる活動を行ってきたからです。今後もU26の活動で多くの青年とつながるこ

「グループ」にはじめて参加して

とができ、さらに多くの出会いや発見があることを楽しみにしています。(こにし こうへい・高槻聖マリヤ教会信徒)

ドルカス 下条あすか

「U26」という管区規模の青年活動がきっかけで大阪教区の青年との繋がりができ、今回グループに参加する機会をいただきました。

東京教区にも青年会がありますが、活動拠点が大体定ま



大阪城南キリスト教会でワーク

加者のほとんどが城南キリスト教会へ来るのは初めてと聞き、いろいろな教会に出かけて行く機会があるのは素敵なことだと改めて思いました。グループの企画がきっかけで、その教会が見たこともない場所から、知っている場所へ変わることは素晴らしいと思います。今回のワークの依頼は、薄くなった駐車場のラインをペンキで描きなさいことでした。寒い寒いと言いつつも、どうしたらまっすぐに線が引けるか試行錯誤

しながら、和気あいあいとした雰囲気で作業は進んで行きました。途中、ハケがペンキで固まってしまったり、駐車している車の下に潜り込んで線を引きたり…。ペンキが足りなくなったり、風で物が飛ばされかけたりもしましたが、みんなで知恵を出し合って臨機応変に対応、工夫しながら協力することができてよかったです。ほとんど初めての作業で、最初に想像していたよりはるかに難しかったですが、みんなで作き上げた線を見たとき心から感動しました。

ワークの後はBBQ。仲間になった人たちと一緒に買い出し、共に調理し食卓を共にしたことも楽しい思い出です。美味しい焼きそばを食べながら、東京の青年会でもこのような会を企画できたらと考えました。グループがなかったら出会うことはなかっただろう人たちと仲間になれたこと、遠くにも互いを思い、折り合うことができることに感謝します。グループの今後の発展をお祈りいたします。(しもじょう あすか・東京教区 聖パウロ教会)



2017
世界祈禱日

フィリピンからのメッセージ
わたしはあなたに不当なことをしているか？

毎年3月の第1金曜日は、世界各地で120年以上の歴史を持つ世界祈禱日が守られています。世界中の主にある女性達が教派を超え、一つの国の課題を覚えて、心を合わせて祈ります。大阪教区婦人会が参加する大阪キリスト教婦人会連合(8教派、2団体)では、今年は日本バプテスト連盟の当番で、3月3日(金)午後1時半から大阪クリスチャンセンターで、「フィリピンからのメッセージ わたしはあなたに不当なことをしているか？」をテーマに礼拝が持たれました。礼拝では、フィリピン式文編集委員会によって作成された式文を用い、日本バプテスト連盟堺キリスト教会の平良仁志牧師がマタイによる福音書20章1〜16節「ぶどう園の労働者のたとえ」からメッセージを下さいました。ぶどう園で5時から雇われた人達はこの社会で差別され置き去りにされた人達のことである。隣人愛は長い間、誰からも雇われなかった人の事や様々な課題を抱える国の事を知り、目を向けることから始まる。その意味でこうして年に1度共に集まり祈ることはとても意義がある、と話されました。この日の参加者は139人(聖公会32人)、席上献金は143,650円でした。(いで のぶこ・西宮聖ペテロ教会信徒)

世界祈禱日礼拝

教派を超えて、 今年はフィリピンのために

リベカ 井出 信子

世界の窓

○アイルランド聖公会の難民支援グループが新事業展開
アイルランド聖公会の難民支援グループは、アイルランド共和国および北アイルランドで避難施設

を求めている人々や亡命者に対して、新資料を基にした事業を開始した。彼らが作成した14ページの資料には、近年どのようにアイルランド聖公会が、避難施設を求めている人々や亡命者を支援してきたかなどの要約がされており、

またその資料を通して教会のメンバーが、この特別な領域での宣教や奉仕に、今以上に関与していける機会があると強調されている。アイルランド共和国の支援グループ議長、パトリック・ローク司祭は「この資料は難民危機の情報と、アイルランド共和国および北アイルランドの両政府とアイルランド聖公会の対応を知りたいと思っっているすべての人々にとっての朗報である。多くの統計や事実上の出来事が情報収集されて、この文書に蓄積されているのであ

る」と述べている。また、北アイルランドの支援グループ議長であるケン・グッド司祭は「避難民や亡命希望者の窮状についての国民意識は、メディア報道のあり方によって左右されることが明らかである。一方、この資料は窮地に陥った人々の恐れや懸念を認識させ、その人々に必要とされる事柄についての有益な情報を提供している。メディア報道に動かされず、事実を知ることが重要なことである」と述べ、作成された資料の記事を読むように奨励している。(Anglican Communion News Service, March 15th, 2017)

日本聖公会 大阪教区婦人会 昇天日礼拝

日時 5月25日(木)
10時30分～ 聖餐式

説教 施洗者ヨハネ 山本 眞 司祭

会場 石橋聖トマス教会

献金先：小名浜聖テモテ幼稚園
遊具購入のため

昼食後、第93回 教区婦人会総会

○ブルンジ聖公会前総裁主教をローマ・アングリカンセンター新局長に指名

6月に退職するデービッド・モクソン大主教の後任として、ブルンジ聖公会前総裁主教、バーナード・ンタホトゥリ神父がローマのカンタベリー大主教座の代表およびローマ・アングリカンセンター新局長に指名された。ンタホ

(次頁3段目につづく)

教 区 の 動 き

常置委員会報告

2月15日(第4回定例)

I. 主教報告

* 英国カンタベリーにおいて
新任主教研修会参加、2月9
日帰阪。

* 2月21・23日、成岡宏晃執
事、管区共通聖職試験受験。

* 山本直樹氏(西宮聖ペテロ
教会信徒)ウイリアムス神学
館入学。

* 大西修主教、3月末名古屋
へ転居、柳城短大チャプレン、
囑託として主日の教会奉仕を
される。

* 3月21日、24日、大阪で日
韓協働合同会議開催。22日聖
ガブリエル教会で張本榮牧師
司祭按手60周年・逝去50周年
記念礼拝。

* 4月25日(火)大韓聖公会
ソウル教区主教按手・就任式
(ソウル大聖堂)。

* 「特別協働教区」発足記念
大阪教区・京都教区合同

礼拝・調印式5月5日(金・
休)開催。式典長・内田望司
祭、副式典長・大岡左代子司
祭、鈴木恵一執事。

* 5月9(火)〜12日(金)
台湾聖公会訪問、宣教協働関
係調印式。

II. その他諸報告

* 九州地震被災者支援として
行われる桃山学院大学「笑顔
を支援」に対し、費用の半額
を教区「災害緊急支援資金」
より支出。

* 台湾聖公会訪問・交流団に
参加する台湾交流委員会委員
及び教役者に対して教区より
補助する。

* 今年度の「神学生を囲むつ
どい」は8月27日(日)に西
宮聖ペテロ教会で開催予定。

III. 協議事項

* 韓相教司祭との間で宣教協
力者協定を締結する。

* 教区礼拝は9月24日(日)、
式典長古澤秀利司祭を中心に
成岡宏晃執事、奥村貴充司祭、

(前頁よりつづく)

トゥリ大主教は、2005年
から2016年までブルンジ
の総裁主教として着座し、戦
争で引き裂かれていたブルン
ジとアフリカのグレートレー
ク地域に関して、タンザニア
でのプロテスタント教会との
仲裁と交渉を推進するなどの
努力によりブルンジに平和を
もたらした人物である。ンタ
ホトゥリ大主教は「指名にあ
ずかったことは、名誉なこと
であり大きな喜びである。神
から召命を受けた人間として
与えられたこの働きを、続け
ていけるようにと期待する。

また、カトリック教会と聖公
会が共通の証人として、平和
の構築を協働できるような強め
られるように望んでいる」と
語っている。ンタホトゥリ大
主教は1948年に貧しい家
庭に生まれ、南ブルンジの小
さな村で育った。ウガンダの
神学校を卒業し1973年に
按手を受けた後、渡英しケン
ブリッジとオックスフォード
で神学を学んだ。帰国後、当
時のブルンジ大統領首席補佐
官として活躍し、1990年
代にブルンジ聖公会の管区主

事に着任している。彼はすで
にフランス語、英語、キルン
ディ語、スワヒリ語を話せる
が、イタリア語も習得したい
と願っているという。ンタホ
トゥリ大主教の局長着任は、
2017年9月の予定である。
(Anglican Communion)

大阪教区 手話の会 『つたえて』

定例会：毎月第2火曜日 午後6時半～(8月は休み)

場 所：教区館にて

教会手話に興味のある方 一度お越しください

問い合わせ：堺聖テモテ教会 TEL 072-261-2015

主催：大阪教区 宣教部 社会宣教委員会

第23回 関西 JOCS バザー

使用済みの切手を持ってバザーに行こう!

日 時 2017年 5月13日(土) 午前11時～午後3時

会 場 大阪聖パウロ教会

連絡先 06-6359-7277



News Service, March 20th,
2017)
司祭 ヤコブ 松平 功
(まっただいら いさお、守口
復活教会牧師、聖ルシヤ教
会管理牧師、プール学院大
学チャプレン、守口ぶどう
のいえ施設長)

千松清美司祭が当たる。
*大阪教区宣教開始の記念年
を協議し継続審議とする。

3月8日(第5回定例)

I. 主教報告

*韓相敦司祭の高槻聖マリヤ
教会赴任に関して、7月末ま
で磯晴久主教が管理。吉田雅
人司祭、岩城聰司祭、松山龍
二司祭、大岡左代子司祭の協
力を願う。

*神戸教区主教選挙は該当者
を得られず、日本聖公会(臨
時)総会(6月17日(土)予定)
で選挙が行われる。

*4月1日付で磯晴久主教が
神戸教区の管理主教に就任
(神戸主教按手式まで)。

II. 協議事項

*大阪教区司祭・執事按手式
を5月3日(水・休)主教座
聖堂で行うことを予定してお
く。

*大阪教区神学生後援会の募
金目標額が減少しており、積
み上げのお願いを要する。

*西宮聖ペテロ教会から追加
推薦された信徒奉事者(ダビ

デ淵上融、リベカ井出信子)
について適当と認め主教に推
挙。

教会・施設の動き

守口復活教会

○守口復活教会は本年、創立
65周年を迎え、先(臨時)
教区会にてご承認いただいた
通り、この記念日を契機に「守
口聖オーガスティン教会」へ
と名称変更いたします。その
お祝いといたしまして記念式
典を左記の通りに行います。

日時 2017年5月7日
(日) 午前10時30分

司式・説教 主教 アンデレ
磯 晴久師父

大阪聖愛教会

○大阪聖愛教会は今年創立70
年の節目を迎えます。来る5
月14日(日)に、創立70周年
記念礼拝を行います。大阪聖
愛教会のこれからの歩みを憶
えてお祈りください。

大阪教区連合男子会

○連合男子会のチャプレンが
岩城 聰司祭から原田光雄司
祭にかわりました。

初陪餐 おめでとう

祈禱書の一部改正に伴い、本年1月1日より堅
信前の陪餐が可能となりました。

以下は4月9日現在で届け出を行い、初陪餐に
与った方々です。

聖贖主教会

- デボラ 市原やちる (1月1日)
- ヨシュア 市原蔵之介 (1月1日)

西宮聖ペテロ教会

- ペテロ 当舎 岳流 (1月8日)
- ペテロ 当舎 那津希 (1月8日)
- ルカ 大宮 幸慈 (2月5日)
- ペテロ 北野 脩 (2月5日)

川口基督教会

- セシリア 田中 幸子 (1月22日)
- ジュリアン 伊東 和花 (2月19日)

聖ルシヤ教会

- モーセ 門田 一郎 (3月12日)

石橋聖トマス教会

- ミリヤム 上坂 果音 (4月2日)
- ハンナ 上坂 在愛 (4月2日)
- マリア 木村 希泉 (4月2日)
- フランシスコ 木村 信 (4月2日)
- パウラ 山崎 伶 (4月2日)
- ヤコブ 原田 修哉 (4月2日)
- ハンナ 長野 怜子 (4月2日)
- ヨハネ 長野 耕太郎 (4月2日)



働き人
募集

社会
宣教
委員会

社会の課題・問題に関心のある方
大募集!!

今年は…

釜ヶ崎のフィールドワーク・講演会を
行います。お手伝いして頂ける方募集。

年齢：16歳～120歳 報酬：キリストの愛

雇用：正委員 or 協力委員 or

今年のプログラムのみのお手伝い【選択可】

このたび社会宣教委員会では、委員・協力委員・
お手伝いくださる方を募集します。

16歳以上であれば年齢、性別を問いません。私
たちの社会が抱えている課題や問題に関心をお持ち
の方はぜひご連絡ください。

また、皆さんの教会で関心を持っておられる方をお
知らせください。どうぞよろしく願いいたします。

今回は、印象的な広告をと思い、求人広告の体
裁にしました。

ご応募・お問い合わせは

TEL: 06-6771-4123 / E-mail jfhide@gmail.com

担当・古澤まで

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 5月10日 (水) 午前10時30分

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 ヨシュア 原田 光雄司祭

司 祭 米村 健治 (1979.5.15)

伝道師 小幡 久能 (1961.5.24)

司 祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973.5.29 英)

宣教師 メーベル・C・バックス (1984.5.30 英)

◇ 6月14日 (水) 午前10時30分

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 ヨハネ 奥 康功司祭

司 祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)

司 祭 オーガスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)

司 祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)

司 祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)

司 祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)

司 祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)

司 祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)

司 祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)

伝道師 マルタ 榎内 晰子 (1946.6.18)

司 祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)

司 祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)

司 祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)

宣教師 エディス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)

主 教 横田 道信 (1946.6.29)

宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)

司 祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)

司 祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。



○西宮聖ペテロ教会
ジヨシユア
高野ジャスティン隆ノ助

アダルベルト 赤山 仁
(3月19日)

○東豊中聖ミカエル教会
ルカ 坂口 治男
(1月3日・88歳)

ハンナ 佐藤 房子
(3月13日・103歳)

○東豊中聖ミカエル教会
マリア 木山 英子
(2016年12月25日)

ダビデ 倉戸 テル
アンナ 倉戸 文江
ペテロ 倉戸 文江
(2月26日)

○東豊中聖ミカエル教会
マリア 木山 英子
(4月2日)

○川口基督教会
ヨハネ 道野 嘉偕
(2月15日・87歳)

○大阪聖ヨハネ教会
ヨハネ 廣政 博
(3月3日・94歳)

○聖ルシヤ教会
モーセ 門田 一郎
(3月12日)

○西宮聖ペテロ教会
ダビデ 倉戸 テル
アンナ 倉戸 文江
(4月9日)

○西宮聖ペテロ教会
ダビデ 倉戸 テル
アンナ 倉戸 文江
(4月9日)

○高槻聖マリヤ教会
マグダラのマリヤ 八木 佐伎子
(2月23日・84歳)

○石橋聖トマス教会
マリア 一ノ字 フミ
(3月27日・93歳)

○川口基督教会
アダルベルト 赤山 仁
クララ 塩田 琴葉
(3月19日)

○川口基督教会
エスペランサ 塩田 季代乃
セシリア 田中 幸子
(4月9日)

魂の平安を
祈ります

○大阪城南キリスト教会
クララ 大田 黒千穂子
(4月9日・90歳)

お詫びと訂正

教区報第453号の掲載記事に以下の誤りがありました。訂正してお詫びします。

*11ページ・常置委員会報告 (5段目6行目)

ソウル教区主教按手式が (誤) 4月29日 (土)

(正) 4月25日 (火) に行われる予定。

*付録2ページ・宣教師部②礼拝・音楽委員会

辻彩乃 (川口) さんを (誤) 協力委員 (正) 委員に加える。